

早期収穫開始で差がつくオクラ栽培

栽培のポイント

●オクラは最初が肝心！

「生りぐせ」は多く穫るための第一条件。初期から良質の根を増やすと低い位置で実が生り、早期から収穫できます。元肥には肥効の穏やかなバクヤーゼK、また根張り優先にするためMリンPKは必ず使用しましょう。

●小まめにバランス良く追肥！

窒素とMリンPKをバランスよく追肥して、中期以降も詰まった節間になると、段数が増えて収量が向上します。

●葉の状態に合わせて追肥！

生長点付近の葉が、細く切れ込みが鋭くなってくると「肥料切れ」の兆候です。追肥は窒素を重点的に行いましょう。逆に、葉が太く切れ込みがなくなってくると「窒素過多」です。Pフォスタの葉面散布で速効的にリン酸を効かせ、窒素を消化させましょう。



オクラの施肥提案（1a＝30坪）

資材名	元肥	追肥① (生育初期の追肥)	追肥② (最盛期以降の10～15日おき)
苦土入りMリンPK	3kg	0.5～1kg	1～2kg
バクヤーゼK ※	30kg	—	—
NK化成	—	0.5～1kg	2～3kg

※バクヤーゼKは播種2週間前までに施肥しましょう

肥料切れ：リーフA液材 500 倍液
チッ素過多：Pフォスタ 500 倍液

【肥料切れのオクラ】



生長点で花が咲いている、カンザシ状態。小まめな追肥を根からだけでなく葉面からも行いましょう。窒素と共にPフォスタなどリン酸追肥も忘れずに。

栄養状態が分かりやすい作物

オクラは栄養状態が目で見えて分かりやすい作物です。判別のポイントをつかみ施肥の参考にしてください。

栄養過多：開花位置が下がる
葉が太く、切れ込み無し

肥料切れ：生長点で開花
葉が細く、切れ込み鋭い